

APC 製 UPS(無停電電源装置)をご使用にあたって

APC 製 UPS(無停電電源装置)をご使用になる前に本書を必ずお読みになり、注意事項をお守りください。本書は必要なときにすぐ見られるように大切に保管してください。

2011 年 7 月 1 日

目次

はじめに	2
安全に関する表記について [重要].....	3
安全上の注意 [重要]	4
使用目的と制限事項	5
運搬、設置、配線における注意事項.....	7
使用上の注意事項	11
バッテリーの寿命	14
バッテリー交換に関する注意事項.....	15
保守に関する注意事項	17
保管に関する注意事項	18

はじめに

- 本書は以下の製品群を対象としています。
 - ① Smart-UPS、Smart-UPS RM、Smart-UPS XL、Smart-UPS RT
 - ② Matrix-UPS
 - ③ Symmetra、Symmetra RM
 - ④ Symmetra LX
 - ⑤ Symmetra PX
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期して作成いたしておりますが、万一ご不審な点や誤り、記述もれ等、お気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。
- 本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 記載の商品名は登録商標です。

安全に関する表記について [重要]

本書では、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示を使用しています。これらの絵表示の個所は必ずお読みください。また、ご使用になる前に本書を必ず熟読し、本製品を安全に正しくご活用ください。

■ 安全性に関する事項

	危険	人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されることを示します。
	警告	人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。
	注意	人が傷害(※1)を負う可能性または物的損害(※2)のみが発生する可能性があることを示します。

※1 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガ、やけど、感電等を指します。

※2 物的損害とは、家屋、家財、および家畜、ペットに関わる拡大損害を指します。

■ 安全上の重要な注意事項

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容

	誤った取り扱いによって、発煙や発火の可能性があることを示します。		安全のために、火気の使用を禁止することを示します。
	誤った取り扱いによって、感電する可能性が想定されることを示します。		安全のために、その行為を強制することを示します。
	安全のために、その行為を禁止することを示します。		安全のために、電源ケーブルの入力プラグを必ず抜くように指示するものです。
	安全のために、本装置の分解を禁止することを示します。		安全のために、接地(アース)線を必ず接続するよう指示するものです。

安全上の注意 [重要]

本装置を取り扱う上での、安全上の注意事項を表記いたします。

■ 安全上の注意事項

 警告	
	ご使用になる前に、本書で説明する注意事項を必ずお読みの上、本装置を安全に正しくお使いください。注意事項を無視した場合、装置が故障するばかりでなく、死亡・ケガ・やけど・感電等の人体事故、火災・周囲の機器の損傷を引き起こす原因となることがあります。また、「危ない」と感じたときは本装置の電源を切ってから電源ケーブルの入カプラグをコンセントから抜いてください。

 注意	
	ご使用になる前に、本書を必ずお読みになり、誤った使用をしないようにしてください。また、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

■ 本装置に関する注意事項

 警告	
	<p>無停電電源装置は、一般事務室における事務処理用として開発されたものです。従って、以下のような用途には使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 生命維持装置や手術室用機器等、人体、生命に重大な影響をおよぼすような医療機器● 原子力発電所の主機制御システム、原子力施設の安全保護系システム等、きわめて高度な信頼性を要求されるシステム制御● 集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システム、交通機関（電車や自動車等）の制御や管制等、人の安全に関与し公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステム制御● 航空宇宙機器等の制御● 工作機械の制御

使用目的と制限事項

1. 電波障害について

本装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

2. 装置から放射される電磁波の影響について

本装置に限らずコンピュータと呼ばれるものは、その動作原理により装置から電磁波を放射します。現在の技術では、装置から放射される電磁波を完全にシャットアウトすることはできません。特に電波によるリモートコントロールを行っている機械の近くで本装置を使用した場合、機器の誤動作の原因となります。

このような機器のそばで本装置をご使用になる場合は、電磁シールド等の対策を行なう必要があります。

3. 輸出/海外での使用について

本装置は、日本国内仕様です。従って、製品を輸出した場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本装置に対する海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っておりません。

4. 品質限定保証規定

- 保証期間中に製品に故障が生じた場合は、弊社の判断により製品を修理または交換します。この保証は、事故、過失、誤用によって破損を受けた製品、改造や修正が施された製品には適用されません。
- 弊社はいかなる場合においても、本製品の使用から生じる、直接的、間接的、特別、偶発的、必然的な損害に関して、そのような損害の可能性についての通告があった場合でも、弊社の保証規定以外は一切責任を負わないものとします。特に、利益や収益の損失、装置使用不能による損害、ソフトウェアの損失、データの損失、第三者からの損害請求、その他の費用に関しては、一切責任は負いません。

5. データ保護について

装置の故障または誤動作によるデータの破損、および移動中に発生する不測の事態等に備え、お客様の責任においてデータを保護してください。

6. 火災予防条例について

無停電電源装置を設置すること等により、バッテリー容量の合計が 4800Ah・セル以上となる時は、専用不燃区画に設置する必要があります(火災予防条例準則第 11 条、13 条)。
詳しい内容を所轄消防署にお問い合わせの上、「設置届書」をご提出ください。

■ 装置のバッテリー容量

バッテリー容量の計算式は以下のようになります。

- 容量(Ah・セル)=単電池(セル)あたりの定格容量(Ah:鉛蓄電池では 20 時間率を基準)×単電池数(セル)

■ 計算方法例

Smart-UPS XL

Battery Module は電圧が 48V で 2 並列接続です。使用されている鉛蓄電池はセル電圧が 2V のため、セル数は $48(V) \times 2 \div 2 = 48(\text{セル})$ となります。セルの定格容量は 9Ah のため、1 Battery Module あたりの容量(Ah・セル)は $48(\text{セル}) \times 9\text{Ah} = 432(\text{Ah} \cdot \text{セル})$ となります。Battery Module 数が 12 を超える場合では全容量は $432(\text{Ah} \cdot \text{セル}) \times 12 = 5184(\text{Ah} \cdot \text{セル})$ となり、規制の対象となります。

Smart-UPS RT (Smart-UPS RT 1500 を除く)

Battery Module は電圧が 96V、使用されている鉛蓄電池はセル電圧が 2V のため、セル数は $96 \div 2 = 48(\text{セル})$ になります。セルの定格容量は 5Ah のため、1 Battery Module あたりの容量(Ah・セル)は、 $48(\text{セル}) \times 5(\text{Ah}) = 240(\text{Ah} \cdot \text{セル})$ となります。Battery Module 数が 20 を超える場合では、全容量は $240(\text{Ah} \cdot \text{セル}) \times 20 = 4800(\text{Ah} \cdot \text{セル})$ となり、規制の対象となります。

Symmetra

Battery Module は電圧が 120V、使用されている鉛蓄電池はセル電圧が 2V のため、セル数は $120 \div 2 = 60(\text{セル})$ になります。セルの定格容量は 7Ah のため、1 Battery Module あたりの容量(Ah・セル)は、 $60(\text{セル}) \times 7(\text{Ah}) = 420(\text{Ah} \cdot \text{セル})$ となります。Battery Module 数が 12 を超える場合では、全容量は $420(\text{Ah} \cdot \text{セル}) \times 12 = 5040(\text{Ah} \cdot \text{セル})$ となり、規制の対象となります。

Symmetra RM

Battery Module は電圧が 120V、使用されている鉛蓄電池はセル電圧が 2V のため、セル数は $120 \div 2 = 60(\text{セル})$ となります。セルの定格容量は 5Ah のため、1 Battery Module あたりの容量(Ah・セル)は、 $60(\text{セル}) \times 5(\text{Ah}) = 300(\text{Ah} \cdot \text{セル})$ となります。Battery Module 数が 16 を超える場合では、全容量は $300(\text{Ah} \cdot \text{セル}) \times 12 = 3600(\text{Ah} \cdot \text{セル})$ となり、規制の対象となります。

Symmetra LX

Battery Module は電圧が 120V、使用されている鉛蓄電池はセル電圧が 2V のため、セル数は $120 \div 2 = 60(\text{セル})$ となります。セルの定格容量は 9Ah のため、1 Battery Module あたりの容量(Ah・セル)は、 $60(\text{セル}) \times 9(\text{Ah}) = 540(\text{Ah} \cdot \text{セル})$ となります。Battery Module 数が 9 を超える場合では、全容量は $540(\text{Ah} \cdot \text{セル}) \times 9 = 4860(\text{Ah} \cdot \text{セル})$ となり、規制の対象となります。

なお、その他製品のセル数については、弊社ホームページ <http://www.apc.com/jp> を参照ください。

運搬、設置、配線における注意事項

本装置を取り扱う上での、安全上の注意事項を表記いたします。

■ 運搬に関する注意事項

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">● 持ち運びの際は各製品の取扱説明書に従って適切な人数にて運んでください。● 無停電電源装置を持ち上げるときはしっかりと持って運んでください。無理に持ち上げると腰等を痛めたり、落としてケガをすることがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● キャスター付き機器は、障害物のない滑らかな床の上を移動させることを前提に設計製造されています。傾斜角 10° 以上ある場所での移動は避けてください。

■ 設置に関する注意事項

 危険	
	<ul style="list-style-type: none">● 引火性のあるガスや発火性の物質がある場所で使用しないでください。火花が発生した場合にこれらの物質に引火し、爆発する危険があります。● 本装置のバッテリーを火の中に入れてください。爆発したり、破裂したりする危険があります。
	



警告



- 発火または感電の危険性をなくすために、本装置は、温度、湿度管理された、清潔で誘電性の汚染物のない室内に設置してください。水の近く、または極度に湿度の高いところでは使用しないでください。



- 本装置をほこりの多い所に設置しないでください。ほこりがたまり、内部の部品がショートして感電や火災の原因となります。



- 塩分や腐食性のガスの発生する場所では使用しないでください。
- 本装置の吸気口および排気口をふさがないでください。本装置内部の温度が異常に高くなると、誤動作・故障の原因となるばかりでなく、火災の原因となります。
- 本装置を直射日光や熱器具の熱が当たるような場所に設置しないでください。熱により火災の原因となります。
- 本装置を設置する前に、電源ケーブル、入力プラグ、コンセントに破損のないことを確認してください。破損したものを使用すると、故障、火災、感電等の原因となります。
- 本装置は内部にバッテリーを含んでいます。商用電源に接続されていない場合でも、コンセントに電圧が出力されていることがあります。
- UPS の電源が入っている時は UPS の電源ケーブルの入力プラグを抜かないでください。本装置または本装置に接続された機器から安全接地が外れてしまいます。
- 本装置を上下逆転の状態で使用しないでください。液漏れの生じるおそれがあります。本装置はマニュアルに記載された姿勢以外では使用しないでください。



注意



- 本装置の上に乗ったり、物を載せたりしないでください。倒れたり、落ちたり、壊れたりしてケガをすることがあります。
- 本装置を不安定な場所に設置しないでください。本装置が倒れ、ケガをすることがあります。
- 常時震動する場所や、衝撃の発生する場所には設置しないでください。故障の原因となります。
- Symmetra、Symmetra RM、Symmetra PX では、電力が供給されていない状態でフレームに Battery Module を取り付けると、バッテリーが放電され、使用不可能となることがあります。UPS の電源を入れる準備ができるまで、Battery Module をフレームに設置しないでください。

■ 配線に関する注意事項



警告



- アースを確実に取り付けてください。取り付けない場合、故障・漏電の際に感電、火災の原因となります。また、ノイズによる誤動作の原因にもなります。



- 本装置のアースを確実に接続するため、電源ケーブルの入力プラグは、接地付コンセントに直接差し込んでください。入力プラグの接地が不十分な場合、感電や火災の原因となります。



- ケーブル類の接続が不完全のまま使用しないでください。ショートや発熱により感電や火災の原因となります。



- 規定内の商用電源にてご使用ください。規定以外の商用電源にて使用すると故障し、火災、感電等の原因となります。

単相 100V (50/60Hz)

Smart-UPS、Smart-UPS RM、Smart-UPS XL(100V モデル)、Smart-UPS RT



単相 200V (50/60Hz)

Smart-UPS XL(200V モデル)、Smart-UPS RT、Matrix-UPS、Symmetra、Symmetra RM



単相三線 100/200V (50/60Hz)

Symmetra LX、Smart-UPS RT(単相三線モデル)

三相 200V (50/60Hz)

Symmetra PX

- 電源はコンセントから直接とり、タコ足配線はしないでください。コンセントが過熱し、火災の原因となります。
- 電源ケーブルの接続に延長コードが必要となるようなコンセントから離れた場所に設置しないでください。無停電電源装置の電源仕様に合っていない電源ケーブルに接続すると、電源ケーブルが過熱して火災の原因となります。
- 入出力端子盤のカバーをはずす場合、本装置をオフにし、入力ブレーカをオフ、そして配電盤の本装置用ブレーカをオフにしてください。これらの操作をせずに、入出力端子盤のカバーをはずすと、感電の原因となります。



注意



- 電源ケーブルや通信ケーブルを足でひっかけるような場所には配線しないでください。つまずいてケガをすることがあります。
- 無停電電源装置の電源ケーブルを接続するコンセントの接地線を他の機器の接地線(とくに大容量の電力を消費する機器等)と共用しないでください。誤動作や故障の原因となります。
- 配線の固定を必要とする電気機器の設置は、必ず資格を有した電気技術者が行う必要があります。
- プラグの変更が可能、もしくは端子盤接続の装置において、プラグの変更および端子盤接続を行う場合は、資格を有した電気技術者が行う必要があります。

■ プラグの変換について

プラグの変更が可能な UPS については、弊社ホームページにて情報を公開しています。詳しくは弊社ホームページ <http://www.apc.com/jp> を参照ください。

使用上の注意事項

本装置を安全に使用するための注意事項を表記いたします。

■ 本装置の禁止事項

 危険	
  	<ul style="list-style-type: none">● 絶縁耐圧試験、絶縁抵抗試験を行うことを禁止します。発煙、火災、故障の原因となります。● 保守員以外の方は、本装置の分解・修理・改造等しないでください。分解・修理・改造等すると正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となることがあります。
 注意	
	<ul style="list-style-type: none">● 本装置はシーケンサ等の電圧波形によって動作を左右されるような工作機械への使用には適していません。● この装置は、短時間の商用電源変動に対応する無停電電源装置ですが、商用電源が常に不安定な環境における商用電源の修正を目的とした使用には適していません。● レーザープリンタを本装置に接続しないでください。レーザープリンタは、定期的に著しい電力を消費するため、本装置が過負荷状態になる可能性があります。

■ 使用上の注意

 危険	
 	<ul style="list-style-type: none">● 本装置の使用中に異音、異臭の発生や発煙など異常が生じた時は、直ちに本装置の電源を切ってから電源ケーブルの入力プラグをコンセントから抜いてください。使用を中止し、販売店または弊社までご連絡ください。
  	<ul style="list-style-type: none">● 本装置はバッテリーを搭載しているため、電源ケーブルを外した状態でも装置内部に危険な電圧が加わっている部分がありますので、絶対に装置内部に触れないでください。● 本装置内部に異物を入れないでください。金属類や燃えやすいもの等の異物が入ると内部の部品がショートして感電や火災の原因となります。万一、異物が入った場合は、本装置の電源を切ってから電源ケーブルを抜いて、弊社までご連絡ください。● 本装置内部に水等の液体を入れないでください。感電や火災の原因となります。万一、液体が入った場合、本装置の電源を切ってから電源ケーブルの入力プラグを抜いて、弊社までご連絡ください。● 雷が鳴り出したら、ケーブル類も含めて本装置に触れないでください。感電するおそれがあります。● 強い衝撃や震動を与えないでください。本製品が破損したり、故障の原因となることがあります。



警告



- コンセント、電源ケーブル、本装置の背面コネクタは水などで濡らさないでください。感電や火災の原因となります。
- 濡れた手で電源ケーブルの抜き差しを行わないでください。感電することがあります。
- 電源ケーブルの抜き差しは、本装置の電源を切ってから入力プラグ部分を持って行ってください。電源ケーブルの破損により感電や火災の原因となります。
- 本装置に接続されているケーブル類は曲げたり束ねたり、物を載せたり、はさみ込んだりしないでください。ケーブルが破損し、感電や火災の原因となります。
- 電源ケーブルの入力プラグにほこりが付着している場合、本装置をオフにし、電源を切ってから入力プラグを抜き、ほこりを取ってください。ほこりが付着しているまま使用すると、感電や火災の原因となります。



注意



- 無停電電源装置を停止する前に、接続機器を停止してください。接続機器を停止させずに無停電電源装置を停止させると、処理中のデータを破壊する原因となります。
- Symmetra、Symmetra RM、Symmetra PX では、電力が供給されていない状態でフレームに Battery Module を取り付けると、バッテリーが放電され、使用不可能となることがあります。本装置を下記のいずれかの状態で停止した場合、必ずフレームから Battery Module を取り外してください。
 - 入力電源から電力が供給されない
 - 入力電源から本装置を取り外す
 - システムイネーブルスイッチをオフにする
 - 入力サーキットブレーカをオフにする
 - パワーモジュールを全て取り外す
 - メインインテリジェンスモジュール(MIM)を取り外す

バッテリーの寿命

本装置では、バッテリーを使用しています。このバッテリーには寿命があり、バッテリーの寿命を過ぎた状態で使用された場合、思わぬ障害を発生させる原因となります。予防保全のためにも、バッテリーは必ず定期的に交換してください。なお、電池工業会では小形制御弁式(シール)鉛蓄電池の取扱いの指針(電池工業会指針: SBA G0202)に基づき、以下のとおり取替え時期を定義しています。

使用温度条件	取替え時期の目安(従来品)	取替え時期の目安(長寿命品)
5~25℃	2.5年~3.0年	4.0年~5.0年
30℃	1.7年~2.2年	2.8年~3.5年
35℃	1.2年~1.5年	2.0年~2.5年

※ 取替え時期の目安は、保証値ではありません。

取替え時期を過ぎて使用すると、バッテリーの機能を発揮できなくなるだけでなく、バッテリーの内部短絡や電槽の破損等が発生し、発煙、火災の原因となる場合があります。そのため、バッテリー交換 LED 点灯の有無にかかわらず、上記期間にてバッテリーを定期交換してください。また、バッテリーの使用個数の多い機器や信頼性の要求される重要な使用機器においては、取替え時期を早めてください。

■ バッテリーの寿命

 警告	
	<ul style="list-style-type: none">● バッテリーは必ず定期的に交換してください。● バッテリーは寿命を過ぎると、容器の劣化により液漏れすることがあります。漏れ液には希硫酸が含まれているため、発煙、火災のおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● バッテリーの寿命は使用温度条件や負荷容量、放電回数によって大きく変化します。● 本装置周辺の荷物の積み上げ等で換気が妨げられた場合、バッテリーの温度が上昇し、寿命が短縮します。● 本装置は周囲温度が 5 ~25 ℃の範囲内で管理することをお薦めします。

注) マニュアルによっては記載事項が異なる場合がございますが、弊社では電池工業会の指針に従い、ご案内させていただいております。

バッテリー交換に関する注意事項

本装置のバッテリーを交換する上での、安全上の注意事項を表記いたします。

■ バッテリー交換時の注意

 危険	
 	<ul style="list-style-type: none">● バッテリーは定期的に交換してください。● バッテリーは寿命を過ぎると、容器の劣化により液漏れすることがあります。漏れ液には希硫酸が含まれているため、発煙、火災のおそれがあります。また皮膚に付着したり目に入った場合、火傷や失明することもあります。● 万一、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で洗浄して、医師に相談してください。● バッテリーに液漏れ、異臭や発煙など異常が生じた時は、バッテリーに触れないでください。● バッテリー引き出しラベルが破損したり何らかの要因でバッテリーが抜けない時は、バッテリーを無理に取り出さないでください。作業を中止し、販売店または弊社までご連絡ください。
	<ul style="list-style-type: none">● 本装置はバッテリーを使用しています。本製品のバッテリーを火の中に入れてください。有毒ガスの発生や爆発、破裂したりする危険性があります。● バッテリーが液漏れを起こした場合は火気を近づけないでください。● バッテリーが液漏れを起こした場合、同時に水素ガスが漏れている可能性がありますので、たばこやライター等の火気は絶対に近づけないでください。



警告



- バッテリーの取扱いでは短絡大電流による感電・やけど等のおそれがあります。次の注意事項を必ず守ってください。
 - － 時計、指輪、ネックレスまたはその他の金属物を外してください。
 - － 絶縁された取っ手のついた工具を使用してください。
 - － バッテリーの上に工具または金属部品を置かないでください。
- バッテリーの種類・銘柄の異なるものを混ぜて使用しないでください。正常に動作しなくなるばかりでなく、液漏れの原因となります。最初にUPSに取り付けられていたバッテリータイプと同じ型番のバッテリーに交換してください。
- 未使用のバッテリーと使用済み、又は使いかけのバッテリーを混ぜて使用しないでください。古い電池が過度の使用状態となり、液漏れの原因となります。
- バッテリー配線またはコネクタは絶対に交換しないでください。配線の交換等すると正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となることがあります。
- UPS がバッテリー運転中に、バッテリーを装置から取り出さないでください。
- バッテリー交換時に、バッテリーコネクタ導体部が装置の金属筐体に触れないようご注意ください。装置が故障するばかりではなく、感電・やけど等のおそれがあります。

■ バッテリーのリサイクルについて



Pb



Pb

この製品には、鉛蓄電池を使用しております。鉛蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。バッテリーの交換及びご使用済み製品の廃棄に際しては、鉛蓄電池のリサイクルへご協力ください。

- バッテリーは「廃棄物の処理および清掃に関する法律」において、「特別管理産業廃棄物」に指定されていますので、むやみにバッテリーを廃棄することはできません。
- バッテリーの交換とバッテリーのリサイクルについての詳細は、弊社ホームページ <http://www.apc.com/jp> を参照するか、コールセンターまでお問い合わせください。
- 使用済みバッテリーは必ずリサイクルしてください。使用済みバッテリーは、交換用バッテリーキットの梱包材を使用して指定の宛先に送料お客様負担にて郵送願います。また、使用済みバッテリーの郵送先は、交換用バッテリーキットをご参照ください。

保守に関する注意事項

本装置の保守に関する注意事項を表記いたします。

■ 点検とお手入れ



- 本装置のお手入れの際は、感電することがありますので、本装置の電源を切った後から電源ケーブルの入力プラグをコンセントから抜いてください。



本装置をより安全にご使用いただくために、次の事に注意して定期的に点検してください。

- 本装置正面パネルにある各種 LED が壊れていないか点検してください。
- 設置されている部屋の温度や湿度を点検してください。
- 本装置のお手入れは、乾いたきれいな布で拭いてください。
- シンナー、ベンジン等の揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんは使用しないでください。外装を痛めたり、故障の原因となることがあります。
- 年に一度、ケーブルや電源ケーブルがすり切れていないか、変質しているところがないか点検してください。

保管に関する注意事項

本装置では、バッテリーを使用しています。そのため、保管中には定期的に充電を行ってください。なお、電池工業会では小形制御弁式(シール)鉛蓄電池の取扱いの指針（電池工業会指針: SBA G0202）に基づき、以下のとおり充電を必要とする時期を定義しています。

温度	期間
25°C以下	6ヶ月以内
30°C以下	4ヶ月以内
35°C以下	3ヶ月以内
40°C以下	2ヶ月以内

■ 無停電電源装置の保管

 注意	
	<p>本装置を保管する場合は、次の事に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 保管前はバッテリーを十分に充電してください。● 乾燥した温度の低いところに保管してください。● バッテリーは保管中も劣化するため、なるべく早く使用してください。● 40°Cを超える環境での保管は避けてください。● 使用前には、必ず充電をしてください。

注) マニュアルによっては記載事項が異なる場合がございますが、弊社では電池工業会の指針に従い、ご案内させていただいております。

装置の更新に関する注意事項

無停電電源装置には寿命があります。使用環境(温度・塵埃)によっても違いますが部品交換や保守・点検を確実にしていることを前提として、必ず更新していただくようお願いします。

一般的な寿命は、社団法人 日本電機工業会(JEMA)から「汎用半導体交流無停電電源装置(汎用 UPS)のユーザーズガイドライン」JEM-TR 185 の中でも下記の様に定義されています。

装置寿命の目安(JEM-TR185 より引用)

一般販売品(汎用品)	装置寿命の目安*
10kVA 未満	5~6 年
10kVA 以上	6~10 年

*装置寿命の目安については、装置により異なる場合がございますので、詳しくは弊社ホームページ <http://www.apc.com/jp> を参照ください。



警告



- 装置寿命を過ぎた製品を使用し続けると、装置の故障だけでなく、発煙などの事故のおそれがあります。



- 装置寿命を過ぎた製品では、製品の信頼性の低下、運転不能に陥ることがあります。



<http://www.apc.com/jp>

990-1739D